

はじめに

この記録は、平成19年中に本県で発生した主な災害の被害状況及び気象状況等を収録したものです。

平成19年中に発生した災害による被害総額は約240億円にのぼり、特に7月12日から15日にかけての台風第4号による大雨と暴風では、県内各地で負傷者9名、人家被害616棟などの被害をもたらしました。また、8月1日から3日にかけての台風第5号による大雨では、県内各地で負傷者8名、人家被害285棟等の被害が発生しました。

いつ起こるとも分からない災害から県土及び県民の生命・財産を守るため、県におきましては、防災無線の整備や各種防災訓練の実施、防災メール配信サービス及び災害監視室設置など、災害時に迅速・的確に対応できる防災体制の充実を図るとともに、県民一人ひとりが自らの命を守る防災意識や知識の普及・啓発活動に取り組んでいるところです。

これからも、宮崎県地域防災計画に基づく各種施策に対する取り組みとして、防災機能を高める社会資本の整備や自主防災組織の活動の活性化などを積極的に行うことにより、県民及び各防災関係機関が一体となり、現在の防災体制がより強固なものとなるよう、一層努力して参りたいと考えております。

関係機関等におかれましては、本記録を、防災上の関係資料として活用していただければ幸いに存じます。

終わりに、この記録の収録に当たり御協力をいただきました宮崎地方気象台をはじめ関係機関の方々に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

宮崎県危機管理局長

後藤 厚一